

瑠璃

瑠璃

祥

祥

空

空

雲

雲

百徳

百徳

しょうらんへきくう うららかに  
祥雲碧空に麗なり

◎ 倣書とは古法帖から感じられる  
結体結構、性情をもとにして  
作品を作ること

◎ 王羲之の  
蘭亭叙、淳化閣帖、  
集字聖教序などを倣書で  
書いています

新年のおめでたい雲(祥雲)が晴れ渡った空(碧空)に  
あらわれた、澄んで美しいようす。

(金幼孜の語)